

実務修習希望地調査書

(令和3年1月20日現在)

整理番号	生年月日を数字化したものを記載すること。(例：昭63.4.24生 630424) 平成.2.10生 010210)
------	--

ふりがな 氏名	男	旧姓又は通称 (使用希望者のみ記載) (身上報告書にも記載する)	健康状態等 良好又は問題なし
昭和 平成	年 月 日生	女 ふりがな 旧姓 通称	既往症
(令和3年3月31日現在 歳)			
現住所 郵便番号(-)			治療中の病気・身体上の障害等
郵便物の送付先としても使用するので正確に記載すること。			
志望(いずれか1つ選択し、複数を選択しないこと。)			
裁判官 検察官 弁護士 未定 その他()			
出身大学	法学部出身の有無 有 無	法科大学院等	予備試験 既修・未修の別 既修 未修

実務修習希望地	希望順位	希望地	理由コード	理由コードに該当する具体的事情
	1	1群は2箇所まで記載可		
	2	1群は2箇所まで記載可		
	3	1群は2箇所まで記載可		
	4	1群は2箇所まで記載可		
	5	3群から記載		
6	3群から記載			
理由コード	1 配偶者(内縁の配偶者・修習終了までに婚姻する予定の婚約者を含む。)・子との同居希望 2 病気・通院 3 親族の介護 4 経済的事情 5 その他 希望理由のない場合、理由コード等は記載不要			

裁判所・検察庁職員である場合又は過去に職員であった場合の過去5年間の勤務地

現職の裁判官・検察官・弁護士又は採用選考申込者若しくは裁判所・検察庁の職員である親族等				本人、親族、友人・知人等を当事者とする訴訟等の係属(見込地を含む。)
続柄	氏名	勤務庁又は弁護士会名	司法修習期	(係属裁判所) 裁判所 支部 (当事者名(続柄))

家族及び の具体的事情に記載した親族等(実務修習地に同伴する家族には「同伴」欄に をすること。)				
氏名	年齢	続柄	職業	同伴
現住所				

備考

該当する にシを付する。

身 上 報 告 書

74

(令和3年1月20日現在)

写真貼付
 写真の裏面に氏名を油性ボールペンで必ず記載する(5枚全て)
 点線の枠にかからないように決められた大きさ(4cm×3cm)の写真を貼付する。

ふりがな氏名		ふりがな旧姓又は通称		使用希望者のみ記載		組・番号	
生年月日 年 月 日 年齢		昭和 年 月 日生 平成 満 歳(令和3年3月31日現在)		性別		実務修習地	
現住所		電話 () 携帯電話 () 緊急連絡先 ()		e-mail @ () 方(続柄)		本籍	
経歴		学 歴 昭和・平成 年 月		職 歴			
		1 法科大学院 (1) 修了 在学中 中退(見込み) (2) コースの別 既修 未修 2 予備試験 その他()		司法試験合格年月日 平成・令和 年 月 日			
現在の健康状態等				過去の病歴			
健康上の配慮等							
自己の性格及び気質							
趣味・嗜好 (たばこを除く)				資格及び技能等			
たばこ		吸う・吸わない		志望		裁・検・弁・未定・その他()	
家族関係		氏名		年齢		続柄	
						扶養関係	
						職業	
						現住所	
備考							

この身上報告書は、司法研修所が司法修習に関する事務(裁判所法14条)のために使用するほか、高等・地方裁判所、高等・地方検察庁、弁護士会における実務修習(選択型実務修習を含む。)及び実務修習中の監督に関する事務(司法修習生に関する規則7,8条)のために使用する。

身 上 報 告 書

74

(令和3年1月20日現在)

写真貼付
 写真の裏面に氏名を油性ボールペンで必ず記載する(5枚全て)
 点線の枠にかからないように決められた大きさ(4cm×3cm)の写真を貼付する。

ふりがな氏名		ふりがな旧姓又は通称	使用希望者のみ記載	組・番号
生年月日 年 月 日 年齢	昭和 平成 満	年 月 日生	性別	実務修習地
歳(令和3年3月31日現在)				

現住所	電話 () 携帯電話 () 緊急連絡先 ()	e-mail @ (続柄)	本籍			
経歴	学 歴 昭和・平成 年 月	職 歴				
	1 法科大学院 (1) 修了 在学中 中退 (見込み) (2) コースの別 既修 未修 2 予備試験 その他 ()	司法試験合格年月日 平成・令和 年 月 日				
現在の健康状態等		過去の病歴				
健康上の配慮等						
自己の性格及び気質						
趣味・嗜好 (たばこを除く)		資格及び技能等				
たばこ	吸う・吸わない	志望	裁・検・弁・未定・その他 ()			
家族関係	氏 名	年齢	続柄	扶養関係	職業	現 住 所
備考						

この身上報告書は、司法研修所が司法修習に関する事務（裁判所法14条）のために使用するほか、高等・地方裁判所、高等・地方検察庁、弁護士会における実務修習（選択型実務修習を含む。）及び実務修習中の監督に関する事務（司法修習生に関する規則7，8条）のために使用する。

司法研修所長 殿

令和2年度司法修習生採用選考申込者

ふりがな
氏 名 印
昭和・平成 年 月 日生(歳)男・女

入 寮 許 可 願

私の住居の状況等は下記のとおりであり、導入修習期間中に入寮したいので、許可してください。

入寮中は、司法研修所司法修習生在寮準則等を厳守します。

記

- 1 現在の住所(必ず記載する。)
〒 - 住所
電話番号 (- -)
携帯電話 (- -)
- 2 1以外の自宅(実家を含む。)等の住所
(二つ以上ある場合には、下の余白に(2)、(3)などと符号を付した上で記載する。)
〒 - 住所
電話番号 (- -)
- 3 実務修習地が東京、立川、さいたまのいずれかとなった場合、入寮申込みを取り下げます。
- 4 喫煙の有無 有(電子器具含む。) 無

.....
《以下は1又は2に記載の住所が東京都、神奈川県、埼玉県又は千葉県内にある場合のみ記入》

- 5 1又は2に記載の住所のうち、和光市駅又は大泉学園駅までの所要時間が最短のもの
(電車を利用しない場合は、司法研修所までの所要時間が最短のもの)
1の住所 2の住所 (2以外)
- 6 5でチェックを付した住所の最寄り駅等
(1) 電車の利用 利用する((2)から(4)までも回答)
利用しない(司法研修所までの所要時間)
徒歩(分)
自転車(分)
バス(分、乗車停留所名:)
(2) 最寄り駅 線 駅
(3) 最寄り駅からの所要時間 時間 分(到着駅) 和光市駅 大泉学園駅
(4) 最寄り駅までの移動手段と所要時間
徒歩 分 バス 分(乗車停留所名:)
- 7 5でチェックを付した住所から司法研修所に通所できない場合は、その理由(できる限り詳しく記載する。)並びに5でチェックを付さなかった住所(東京都、神奈川県、埼玉県又は千葉県内にある場合)の利用の可否及び司法研修所までの所要時間

〒 3 5 1 0 1 9 4

埼玉県和光市南

二丁目3番8号

司法研修所 行

(事務局企画第二課調査係)

実務修習希望地調査書・身上報告書 在中

簡易書留

(適宜の封筒の表面に貼付可)

		整理番号					
差 出 人	住所	〒 -					
	氏名						

同封書類を確認の上、
をつけてください。

	写 真 3 枚
	身 上 報 告 書 2 部
	実務修習希望地調査書

入寮許可願は同封しないこと。

(差出人欄として適宜の封筒の裏面に貼付して使用可)

写真用封筒

裏面に氏名を記入してある
4 cm × 3 cm の写真 3 枚を , 写
真裏面に記入した氏名のイン
クで写真の表面が汚れないよ
うにして , 封緘してください。

記入してください。

整 理 番 号

--	--	--	--	--	--

氏 名

生年月日が昭和 6 3 年 4 月 2 4 日

整理番号 6 3 0 4 2 4

生年月日が平成元年 2 月 1 0 日

整理番号 0 1 0 2 1 0

(適宜の封筒に貼付し , 写真用封筒を作成する)

〒351-0194
埼玉県和光市南二丁目3番8号

司法研修所（いずみ寮）
事務局総務課寮務係 行

入寮許可願 在中

簡易書留

（長形3号封筒の表面に貼付可）